

はじめに

本テキストは、皆さんが無理なく基本をマスターし、かつ応用力を養成できるように編集してあります。

文章分野ごとの単元構成です。単元ごとに、その分野の主な論点を基
本事項にまとめました。例題・演習問題A・演習問題Bと進むにつれて、
その分野について深く読み込んでいきます。また、内容理解の助けとな
るように、演習問題Aは本冊に、例題・演習問題Bは解説に、内容を図
式化してまとめました。

巻末には漢字トレーニングを設けました。大学入試でも漢字問題が出
題されるので、じっくり取り組んでください。

本書が有意義に活用されることを祈っています。

構成と活用法

本テキストは、次のように構成されています。

▼例題 その分野の典型的な内容の、短い文章を扱います。論点
をきちんと読み取りましょう。

▼演習問題A・演習問題B

演習問題A・演習問題Bでは、文章が徐々に深く長
くなっていきます。演習問題Bでは、字数の多い記述問題
も出題しています。論点をきちんと読み取るとともに、
正解にたどり着くように正しく考えましょう。

◆ もくじ — 大学受験β 現代文

1	現代文の読解(1)——人間・文化論	2
2	現代文の読解(2)——言語・身体論	10
3	現代文の読解(3)——文学・芸術論	18
4	現代文の読解(4)——近代・現代論	26
	漢字トレーニング	34

第1講

現代文の読解(1)——人間・文化論

例題

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

25 20 15 10 5

思考

- 1 チェスの世界チャンピオン、カスパロフはコンピューターとの試合で、コンピューターの計算の「量」が「質」に転じるかもしれない可能性を経験する。
 - 2 その後のインタビュで、カスパロフは、コンピューターが判断力を持ち始めたという感想を語った。
 - 3 機械が人間を打ち負かすのではないかという考えは、一種黙示録的な不安を呼び起こす。
 - 4 機械が人間を超えることが脅威になるのは、機械と人間の勝負の裏側に、人間と神の勝負を見失ってしまうせいかもしれない。
 - 5 機械と人間とのチェスの試合は、単にゲームの勝敗といった以上の問題を投げかけていることをつかもう。
 - 6 機械との試合で鍵になるのは、カスパロフの言う「感性」である。
- ▽コンピューターの「奇妙な知性」と、人間の「感性」という対比をおさえよう。
- 6 肉体的な疲労や注意力の低下がない機械に勝てるのは「感性」である。人間には評価や判断のみならず、推論や感情といった非常に幅の広い精神の働きがある。

人文・ 個別性の追究を重んじる

社会系 個人の考えがほかから独立して存在できる

溝 〓 それぞれの考え方がなぜ出てくるかが理解できないという障壁

自然科学 普遍性の追究を重んじる

内部の諸分野に整合性が不可欠

一人の科学者の業績はジグソーパズルの一ピースのようなもの

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

20

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(長谷川真理子「科学の目 科学のこころ」による)

(注) C・P・スノウ：イギリスの物理学者・小説家。(一九〇五―一九八〇)

文部省：現在の文部科学省の前身。二〇〇一年まで存在した。

問一 ―― 線①「人文・社会系の人々と同じ柵の中に入っ
 ていかざるをえない」とあるが、「柵」の外と中とが分
 けられる理由として最も適切なものを、次のア
 ～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 学問の過程や手段に大きな違いはなくても、学問の
 対象が異なるから。
- イ 学問の対象は同じだが、学問の過程や手段のさま
 ざまな点で異なるから。
- ウ 学問の対象や過程は同じだが、学問の具体的な手
 段が大きく異なるから。
- エ 学問の対象だけでなく、学問の過程や手段のさま
 ざまな点で異なるから。

問二 ―― A、Cに入る言葉の組み合わせとして最も
 適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で
 答えよ。

- ア A つまり B ところが C あるいは
- イ A しかし B もちろん C しかし
- ウ A ならば B たとえば C つまり
- エ A とはいえ B あるいは C そこで

55

50

問三 ―― 線②「まったく噛み合わない消耗するだけの議論で終わる」とあるが、その原因の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

- ア 相手の意見を必ず変えさせようとして、互いにむきになること。
- イ 相手の分野の基本的な知識を一方しかもっていないこと。
- ウ 相手の考え方が前提とする思考の枠組理解できないこと。
- エ 相手の文化との間に非常に深い溝があること知らずにいること。

問四 ―― 線③「二つの文化」について説明した次の文の a、b に入る言葉を、それぞれ本文中の言葉を使って指定字数で書け。

「二つの文化」とは、a(十五字)系と b(十六字)系という、深い溝で分けられた二つのタイプの学問群のことである。

a	
b	

問五 本文の内容と合致するものを次のア～エから二つ選び、記号で答えよ。

- ア 自然系の学問は、広範囲の現象を基本的な理論で説明しようとする。
- イ 個人の考えが独立して存在できることが、自然科学の特徴である。
- ウ 人文・社会系は、内部より外部の諸分野間の整合性を重視する。
- エ 自然科学の素養を持たないものは、無教養だと思われる傾向がある。
- オ 現代の社会に溢れる技術は、自然科学の直接の産物である。
- カ 科学者と一般の人々との間の溝は、以前より深くなってきた。

問六 筆者が教育に求めることは何か。本文中の言葉を用いて四十字前後で説明せよ。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

演

習

問

題

IB

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

問一 A F に入れるのに最も適切な語を、次のア～エからそれぞれ

一つずつ選び、記号で答えよ。

- A ア それでも イ たとえば ウ さらに エ それゆえ
- B ア ただし イ しかし ウ たとえば エ さらに
- C ア つまり イ さらに ウ 他方 エ ただし
- D ア それゆえ イ ただし ウ つまり エ なぜならば
- E ア もっとも イ 他方 ウ したがって エ しかし
- F ア それゆえ イ なぜならば ウ たとえば エ 他方

問二 X Z に入れるのに最も適切な語を、次のア～エからそれぞれ

一つずつ選び、記号で答えよ。

- X ア 思想 イ 文明 ウ 身体 エ 存在
- Y ア 容易 イ 偶然 ウ 必然 エ 妥協
- Z ア 人工化 イ 都市化 ウ 倫理化 エ 社会化

問三 線①「日本の都市は人工から自然へと、明瞭な結界なしに移行す

る」とあるが、それはどのような理由によるものか。本文の論旨に沿って六十字以内(句読点その他の符号も字数に含める)で説明せよ。

問四 線②「京のならひ、何わざにつけてもみなもとは田舎をこそ頼める

に」とは、どのようなことを述べたものか。その説明として最も適切なものを

のを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- A 都会人は自然に近い田舎にあこがれて生活している。
- イ 都会の暮らしをまねて田舎の人は生活している。
- ウ 都会の生活はすべて田舎をたよりにしている。
- エ 都会があつてはじめて田舎の生活がなりたっている。
- オ 都会人の風俗習慣は田舎を発生源としている。

問五 線③「生きるための規矩はなにかという現代日本社会の問題は、お

そらくここに発している」とは、どのような内容を意味するか。その説明として最も適切なものを次のア～オから一つ選び、記号で答えよ。

- A 生きるための基準は何かという現代日本社会の問題は、近年の都市化によって手入れという原則が壊れたことに発する。
- イ 生きるための困難は何かという現代日本社会の問題は、近年の都市化に基づく仕事、身体のケア、子育ての原則に発する。
- ウ 生きるための責任は何かという現代日本社会の問題は、近代の都市化が手入れという原則を壊したつもりがなかったことに発する。
- エ 生きるための法則は何かという現代日本社会の問題は、近代の都市化が生きるための手本は何かという現代日本社会の問題は、近代の都市化で子育ての原則が天才教育も完全な放置も採れないことに発する。

問六 筆者が言う「手入れの思想」に合致しないものはどれか。次のア～オ

ら一つ選び、記号で答えよ。

- A 「田んぼ里山」を成立させた思考と実践の思想である。
- イ 自然に働きかけ、それを有効利用しようとする思想である。
- ウ 結果的に日本人の努力・根性といった性格を生み出した思想である。
- エ 先祖から培われてきた「折り合い」思想の一つである。
- オ 自然を尊重し、それをありのままに存続させようとする思想である。

② 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

演

習

問

題

IB

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

55 50 45 40 35 30

